

中期経営計画書

策定年月日 2024 年 3 月 21 日

法人名: 青森空港ビル株式会社

法人の設立目的

青森空港は昭和39年11月滑走路延長1,200メートルで供用開始したが、激増する航空輸送需要に対応できないことからジェット機が就航できる新空港の建設を各方面から強く要望された。そのため、青森県は滑走路方向を修正し、昭和62年7月滑走路2,000メートルで供用開始を目途に建設を推し進めた。この空港の整備はエアバスクラスの大型機の就航も可能で今後飛躍的に増加する航空需要に十分対応することは勿論、青森地域テクノポリスの推進を中心とする青森県の経済、文化等各方面の発展に多大の貢献をするものと期待された。こうした新空港の拡充整備に伴い、空港利用者に対し十分その使命を果たしうるような空港ターミナルビルの建設が必要となった。そこで、青森県は、県及び関係市町、航空会社並びに経済界等が一体となって、青森県の空の玄関にふさわしい近代的な新ターミナルビルの建設を目指した。その運営にあたる「青森空港ビル株式会社」を昭和60年4月1日に設立した。

法人の経営目標

青森空港が北東北・青函地域のゲートウェイとして、また、空港施設としての「社会的使命」を認識し、安全・安心・快適なサービスを提供するとともに、経営の安定に努め、「青森空港活性化ビジョン」の目標達成に向け最大限の努力を傾注し、事業を展開する。

中期経営計画における基本方針と目標

(1) 経営基盤の強化

当社は青森空港旅客ターミナルビル施設・設備の老朽化、狭隘化に対応するため2018年度・2019年度にリニューアル増改修工事を行い、これに伴う減価償却費及び金融費用が増加している。これに加え、2020年度以降新型コロナウイルス感染症拡大により航空需要が大きく落ち込んだことにより厳しい経営状況が継続している。

このため、不動産収入や付帯事業収入などの増収を図るとともに、支出面においても効率的な執行に努め、早期の経営安定化に取り組む。

(2) 安全・安心で魅力ある空港づくり

① 青森空港が北東北・青函地域の交通拠点として機能するため、県及び関係期間と一体と地域のゲートウェイとして不可欠な航空ネットワークの維持・拡大を目標達成の重要課題と位置付け、青森県及び関係機関と一体となって既存路線の拡大、インバウンドを含む新規路線の開設に取り組む。

② お客様が安心して空港を利用していただけるよう、災害対策の充実に取り組む。

③ 快適で魅力ある空港づくりのため、ユニバーサルデザインの推進や顧客満足度向上に取り組む。

目標達成に向けた具体的な取組と取組指標

① 不動産収入の増収

【取組内容など】

電気料、人件費、物価の上昇に伴う直接費(電気料)及び管理費契約の見直し

【指標(目標値)】： 売上高目標(最終年)685,761千円
 ・リニューアルに伴う国際線航空会社の使用料改定による増収
 (参考)2023年度不動産収入:562,851千円

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	611,171	645,386	666,610	685,770	685,761
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点

●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点

② 付帯事業収入の増収

【取組内容など】

付帯事業収入の増収:コーヒーショップ売上、ラウンジ売上高、広告収入等の増収(免税売店除く)

【指標(目標値)】： 売上高目標(最終年)267,289千円
 付帯事業収入の増収(2024年度):コーヒーショップ売上は月額3,868千円、ラウンジ売上高は月額52,023千円、広告収入その他は年額32,582千円 (参考)2023年度付帯事業収入合計:143,738千円

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	153,250	207,966	241,973	268,016	267,289
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点

●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点

③ 航空利用者の拡大

【取組内容など】

・青森県及び関係機関と一体となったエアポートセールスの実施

【指標(目標値)】： 乗降客数目標(最終年)132.1万人
 ・2028年度 国内線定期5路線、国際線定期3路線、チャーター便(2024年度 国内線定期5路線、国際線定期1路線)
 ※参考:青森空港活性化ビジョンの目標値(2025年度130万人)

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	121.9万人	127.9万人	130.5万人	133.0万人	132.1万人
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点

●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点

定数管理(役・職員数)		(単位:人 / 上段:計画、下段:実績)				
項目		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
常勤役員	県派遣職員					
	県職員OB	2	2	2	2	2
	民間からの役員					
	プロパー職員					
	小計①	2	2	2	2	2
常勤職員	県派遣職員					
	県職員OB					
	民間からの職員					
	プロパー職員	16	16	16	16	16
	小計②	16	16	16	16	16
非常勤役員	県・市町村関係	3	3	3	3	3
	民間からの役員	10	10	10	10	10
	小計③	13	13	13	13	13
非常勤職員	県職員OB					
	その他の職員					
	小計④					
臨時職員⑤		13	13	13	13	13
合計(①~⑤)		44 0	44 0	44 0	44 0	44 0

計画の基本的考え方

⑤臨時職員には無期雇用契約転換職員等を含む。
上記の他、コーヒーショップでアルバイトを雇用している。

●年度の実績に係る法人自己分析・改善点	●年度の実績に係る所管課分析・改善点

経営状況(収支計画)		※株式会社、特別法法人用 (単位:千円 / 上段:計画、下段:実績)				
項目		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
収入	不動産収入	611,171	645,386	666,610	685,770	685,761
	免税売店売上高	22,203	72,072	105,352	129,376	129,376
	コーヒーショップ売上高	46,442	48,728	49,071	50,023	49,680
	ラウンジ売上高	52,023	54,584	54,968	56,035	55,651
	その他収入	32,582	32,582	32,582	32,582	32,582
	受取利息・配当金・雑収入	845	245	245	245	245
	補助金収入	17,304	0	0	0	0
	計	782,570 0	853,597 0	908,828 0	954,031 0	953,295 0
支出	売上原価	47,979	84,179	107,668	125,023	124,830
	人件費	165,947	164,232	162,351	159,741	161,499
	減価償却費	226,441	219,435	217,038	215,694	214,066
	ビル管理費	99,658	99,658	99,658	99,658	99,658
	水道光熱費	93,454	93,454	93,454	93,454	93,454
	租税公課	36,668	34,402	34,304	34,117	33,349
	修繕費	18,219	19,110	24,140	21,665	18,690
	その他の費用	71,855	77,702	77,726	77,799	77,773
	支払利息・雑損失	19,063	17,398	15,542	13,723	11,832
	固定資産除却損	843				
	固定資産圧縮損	17,222				
	計	797,349 0	809,570 0	831,881 0	840,874 0	835,151 0
税引前当期利益		-14,779 0	44,027 0	76,946 0	113,157 0	118,144 0
法人税等		950	3,515	28,228	46,675	48,955
税引後当期利益		-15,729 0	40,512 0	48,718 0	66,482 0	69,189 0

計画の基本的考え方

2024年度収入: 不動産収入はリニューアル後の増収分を加味して算出。免税売店は2024年度1路線、2025年度2路線、2026年度3路線として算出

2024年度支出: 2023年度推計を基に2024年度以降を算出。

計画との乖離状況	税引前当期利益	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %
	税引後当期利益	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

※計画との乖離状況(計算式) = |(計画値-実績値)| ÷ |計画値| × 100

●年度の実績に係る法人自己分析・改善点	●年度の実績に係る所管課分析・改善点

長期借入金償還計画	(単位:千円/上段:計画、下段:実績)				
項 目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
前年度借入残高	1,491,500	1,337,500	1,183,500	1,029,500	875,500
当該年度借入額(新規)					
当該年度元金償還額	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000
当該年度末借入残高	1,337,500 0	1,183,500 0	1,029,500 0	875,500 0	721,500 0

計画の基本的考え方
<p>リニューアル増改修資金として2,300,000千円を借入(2019年度)、60回(年4回)均等返済を行う</p> <p>※2023年度末現在 17/60回 返済</p>

計画達成率	(年度元金償還額)	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %
	(年度末借入残高)	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %

※計画達成率(計算式) = 実績値 ÷ 計画値 × 100

●年度の実績に係る法人自己分析・改善点	●年度の実績に係る所管課分析・改善点

中期経営計画に対する所管課の意見	
基本方針について	<p>企業として安定的な成長を達成するため、旅客ターミナルビルのリニューアル効果を最大限発揮し、増収対策を強化すること。</p> <p>費用面においてはリニューアルに伴う減価償却費及び金融費用が増加することから、業務の効率化による生産性向上を図り、外部環境の変化に強い企業体質への改善に取り組むこと。</p>
目標設定について	<p>青森空港活性化ビジョンの目標達成にむけて</p> <p>①地域のゲートウェイとして不可欠な航空ネットワークの維持・拡大を目標達成の重要課題と位置付け、青森県及び関係機関と一体となって既存路線の拡大、インバウンドを含む新規路線の開設に取り組むこと。</p> <p>②安全・安心な空港施設の維持・向上のため、防災対策や保安対策をハード・ソフト両面において強化すること。</p> <p>③旅客ターミナルビルのリニューアル効果を最大限発揮するため、ソフト面においても「空港利用者の満足度向上」に向けた取り組みを強化すること。</p>
定数管理について	<p>組織・定数の最適化や、人件費高騰の状況も踏まえた人件費の適正化を図ることで経費削減に計画的に取り組むこと。</p>
収支計画等について	<p>利用者の利便性・サービスの向上に努めることにより増収策を強化するとともに、リニューアルに伴い増加した償還費用に対応するため、経費の適切な執行管理に努め、健全な経営を行い、経営基盤の強化を図っていくこと。</p>

所管課の方針	
今後の県としての関与について	<p>県が最大の出資者であることから、「青森空港活性化ビジョン」の目標達成に向けた取り組みや、経営の合理化や経営基盤の強化に対して、助言、協力を行う。県が最大の出資者であることから、「青森空港活性化ビジョン」の目標達成に向けた取り組みや、経営の合理化や経営基盤の強化に対して、助言、協力を行う。</p>

●●年度の実績に係る所管課意見等	
改善すべき点等	